

整腸薬

製品群No. 12

ワークシートNo.10

リスクの程度 の評価	評価の視点	A 薬理作用	日相互作用	C 重篤な副作用のおそれ	D 産用のおそれ	E 他剤併用(新法製、治療法等) (重篤な副作用におそれ)	F 効能・効果(症状の悪化) (重篤な副作用におそれ)	G 使用方法(服用のおそれ)	H スイッチ化等に伴う使用環境の変化	用法用量	効能効果
評価の視点	相互作用	薬理作用	相互作用(他剤との併用に より重篤な副作用が生ずる おそれ)	重篤な副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ
乳糖成分	ラクトミン	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。							通常、成人1日3～6錠を3回に分けて服用する。なお、年齢、症状により適量増減する。	効能効果
	ラクトミン	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。							通常、成人1日3～6錠を3回に分けて服用する。なお、年齢、症状により適量増減する。	効能効果
	ラクトミン	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。							通常、成人1日3～6錠を3回に分けて服用する。なお、年齢、症状により適量増減する。	効能効果
	ラクトミン	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。							通常、成人1日3～6錠を3回に分けて服用する。なお、年齢、症状により適量増減する。	効能効果
乳糖成分	ラクトミン	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。							通常、成人1日3～6錠を3回に分けて服用する。なお、年齢、症状により適量増減する。	効能効果
	ラクトミン	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。							通常、成人1日3～6錠を3回に分けて服用する。なお、年齢、症状により適量増減する。	効能効果
	ラクトミン	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。							通常、成人1日3～6錠を3回に分けて服用する。なお、年齢、症状により適量増減する。	効能効果
	ラクトミン	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。							通常、成人1日3～6錠を3回に分けて服用する。なお、年齢、症状により適量増減する。	効能効果
乳糖成分	ラクトミン	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。							通常、成人1日3～6錠を3回に分けて服用する。なお、年齢、症状により適量増減する。	効能効果
	ラクトミン	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。							通常、成人1日3～6錠を3回に分けて服用する。なお、年齢、症状により適量増減する。	効能効果
	ラクトミン	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。							通常、成人1日3～6錠を3回に分けて服用する。なお、年齢、症状により適量増減する。	効能効果
	ラクトミン	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。							通常、成人1日3～6錠を3回に分けて服用する。なお、年齢、症状により適量増減する。	効能効果
乳糖成分	ラクトミン	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。							通常、成人1日3～6錠を3回に分けて服用する。なお、年齢、症状により適量増減する。	効能効果
	ラクトミン	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。							通常、成人1日3～6錠を3回に分けて服用する。なお、年齢、症状により適量増減する。	効能効果
	ラクトミン	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。							通常、成人1日3～6錠を3回に分けて服用する。なお、年齢、症状により適量増減する。	効能効果
	ラクトミン	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。	ラクトミンは、腸内菌叢の回生、腸内環境の改善に有効。							通常、成人1日3～6錠を3回に分けて服用する。なお、年齢、症状により適量増減する。	効能効果

消化薬

製品群No. 13

ワークシートNo.11

リスクの程度 の評価	A 薬理作用	B 相互作用	C 重篤な副作用のおそれ		D 薬用のおそれ		E 患者背景(既往歴、治療状況等)(重篤な副作用につながるおそれ)	F 効果・効果(症状の悪化)につながるおそれ		G 使用方法(併用使用のおそれ)	H スイッチ化に伴う使用環境の悪化	用法用量	機能効果
			重篤な副作用のおそれ	重篤でないが、注意すべき副作用のおそれ	薬理に基づく留意性	重篤な副作用のおそれ	重篤でないが、注意すべき副作用のおそれ	症状の悪化につながるおそれ	適応対象の症状の悪化につながるおそれ	使用方法(併用使用のおそれ)	スイッチ化に伴う使用環境の悪化		
			薬理・毒性に特異的体質・アレルギー等によるもの	薬理・毒性に特異的体質・アレルギー等によるもの	薬理に基づく留意性	重篤な副作用のおそれ	重篤でないが、注意すべき副作用のおそれ	症状の悪化につながるおそれ	適応対象の症状の悪化につながるおそれ	使用方法(併用使用のおそれ)	スイッチ化に伴う使用環境の悪化		
			併用禁忌(他の薬剤との併用により重大な問題が生ずるおそれ)	併用注意									
でんぷん消化薬	ジアスターゼ	アミラーゼとしてでんぷん分解をする。										1回0.3～0.5g、1日3回、適量増減	主として炭水化物の消化異常症状の改善
ジアスマン	単味なし												
ニューラーゼ	単味なし												
プロサイム	単味なし												
腸防消化薬	ホリバーゼ	単味なし											
リバーゼ	単味なし												
セルラーゼ	単味なし												
セルロシン	単味なし												
複合消化薬	タカヂアスターゼ	主として炭水化物の消化					頻度不明(過敏症)					1回0.2～0.3g、1日3回、適量増減	主として炭水化物の消化異常症状の改善
パンクレアチン	パンクレアチン	消化作用					5%以上または頻度不明(過敏症)					1回1g、1日3回、適量増減	消化異常症状
バイオチアスターゼ	単味なし												
バイオミラーゼ	単味なし												

製品群No. 14

ワークシートNo.12

[illegible]

ワークシートNo.13

關文應傳經通斷成公

[illegible]

胃腸鎮痛鎮けい薬

製品群No. 15

ワークシートNo.13

リスクの程度 の評価	薬理作用	相互作用	C 重篤な副作用のおそれ	C' 重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	D 薬用のおそれ	E 懸念物質(致性腫瘍、治癒状況等) (重篤な副作用につながらずおそれ)	F 効果・効果(症状の悪化) につながらずおそれ	G 使用方法(使用法のおそれ)	H スイッチ 化等に伴う 使用環境の 変化	機能効果
評価の視点	薬理作用	相互作用	重篤な副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	薬理に基づく 薬性	重篤な副作用 (投与により降重の 再発・悪化のおそ れ)	症状の悪化 につながらずおそれ	使用方法(使用法のおそれ)	スイッチ化 等に伴う使 用環境の改 化	機能効果
		併用薬(他) 剤との併用に より重篤な副 作用が生ずる おそれ	重篤な副作用に 特異性・ア レルギ等 によるもの	重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ 薬理・毒性に 基づくもの	薬理に基づく 薬性		症状の悪化 につながらずおそれ	使用法(使用法のおそれ) 使用法に上 記にあるもの	スイッチ化 等に伴う使 用環境の改 化	機能効果
胃腸鎮痛成分	高所鎮痛作用、 胃腸運動抑制作用			0.1~5%(重 効不整、嘔 吐、下痢、 頭痛、眩 暈)、頻度不 明(低血、脱 力感)	0.1~5%(過 敏症)	本剤過剰投与 症		口内にびびれ、 舌を噛みやす い		1日15~40mg、3~4回分 服。高齢者は減量

ワークシートNo.15

[illegible]

製品群No. 19

製品群No. 19

[illegible]

ワークシートNo.18

リスクの程度 の評価	A 薬理作用	B 相互作用	C 重篤な副作用のおそれ	D 副作用のおそれ	E 重篤な副作用につながらず、治療効果等	F 効果・効果・副作用（症状）の発現	G 使用方法（投与法）	H スイッチ 化等に伴う 使用環境の 変化	機能効果
評価の項目	薬理作用	相互作用	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	用法用量
高コレステロール血症	1. 血中LDL-Cの低下 2. 血中HDL-Cの増加 3. 血中TGの低下 4. 血中VLDL-Cの低下 5. 血中LDL-Cの酸化阻害 6. 血中LDL-Cの取り込み促進 7. 血中LDL-Cの取り出し促進 8. 血中LDL-Cの取り出し促進 9. 血中LDL-Cの取り出し促進 10. 血中LDL-Cの取り出し促進	併用薬品（他 剤との併用） より重篤な副作用が 発生するおそれ	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	用法用量 成人は、1日1.200mg（60mgセル）を 3回に分けて経口投与する。 高齢者で減量。
高コレステロール血症	1. 血中LDL-Cの低下 2. 血中HDL-Cの増加 3. 血中TGの低下 4. 血中VLDL-Cの低下 5. 血中LDL-Cの酸化阻害 6. 血中LDL-Cの取り込み促進 7. 血中LDL-Cの取り出し促進 8. 血中LDL-Cの取り出し促進 9. 血中LDL-Cの取り出し促進 10. 血中LDL-Cの取り出し促進	併用薬品（他 剤との併用） より重篤な副作用が 発生するおそれ	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	用法用量 成人には、1日1.200mg（60mgセル）を 3回に分けて経口投与する。 高齢者で減量。
高コレステロール血症	1. 血中LDL-Cの低下 2. 血中HDL-Cの増加 3. 血中TGの低下 4. 血中VLDL-Cの低下 5. 血中LDL-Cの酸化阻害 6. 血中LDL-Cの取り込み促進 7. 血中LDL-Cの取り出し促進 8. 血中LDL-Cの取り出し促進 9. 血中LDL-Cの取り出し促進 10. 血中LDL-Cの取り出し促進	併用薬品（他 剤との併用） より重篤な副作用が 発生するおそれ	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	重篤な副作用のおそれ （重篤な副作用のおそれ）	用法用量 成人には、1日1.200mg（60mgセル）を 3回に分けて経口投与する。 高齢者で減量。

ワークシートNo.19

[illegible]

